

移築保存の願い叶わず、118年の歴史にピリオド **三井三郎助別荘解体「大きな損失」**



所有者が不要とする三井家の備品や家具は町が引き取つた。保存会代表の増淵宗一日本女子大学名誉教授は「軽井沢最古の和洋館別荘が取り壊されることは軽井沢町の歴史上、大きな損失。町が所有する八田別荘や旧スイス公使館別荘が活用されていれば、事情は変わったかもしれない」と話し「今後は軽井沢町が歴史文化遺産の保全方法を制度化するなど、もっと積極的に取り組んでほしい」と訴えた。

10月4日、静かな別荘地にバリバリッと重機が壁を壊す音が響き渡った。三井財閥の三井三郎助によつて明治33年に建築された、瀟洒な洋館の壁はあつけなく壊されていった。

卷之三

いたことが6月下旬に分かり、7月上旬、軽井沢文化遺産保存会が新しい所有者へ移築保存したい旨を手紙で伝えた。8月に写真展を開き署名を集めなど保存運動が展開され、日本建築学会北陸支部が保存要望書を提出する動きもあつた。保存会は移築活用の提案を行い、資金の用意も考えていたという。しかし、所有者との直接の交渉ができず、解

愛宕山てっ�んの森を守る会「a-trust」が
軽井沢初の特例認定 NPO 法人に

NPO 法人愛宕山てっ�んの森を守る会（a-trust）は今年4月にセブンイレブン記念財団の助成金（128万2910円）を受け、40年以上、手入れされず荒れ放題だった森の手入れを行ってきた。これまで続けてきた森を守るための活動が認められ、9月30日、軽井沢で初めての特定非営利活動法人として、長野県から特例認定された。

特例認定 NPO 法人では寄付者に優遇税制が適用されるため、寄付金が集めやすくなるという利点がある。今後はその特徴を活かし、豊かな森を復元するために、更なる寄付を呼びかけて活動の輪を広げる方針だという。「今後は自然保護活動の範囲を軽井沢全域に広げ、地球温暖化に少しでも貢献できるように、更なる自然保護活動に邁進した

い」と、a-trust 理事長の加藤正文さん。

創作甘味提供「軽井沢スイーツ散歩」、8 店舗で

町内のホテル、レストラン、カフェなどのパティシエが趣向を凝らした創作スイーツを提供する「軽井沢スイーツ散歩」が、10月26日～11月30日に開催される。8回目を迎える今秋は「ココロとカラダに優しいスイーツ」をテーマに、8店舗が各店で販売する。



● 体のほぐし ●

●顔のほぐし ●

リを解説
体のほぐしに追加の場合
45分 4,000円

軽井沢町長倉4229 〈予約制〉 ゆらく
ほぐし専門店 楽
0120-575-081
厚生大臣認可 全国整体療法協同組合員 日本身心医学協会員
中野井沢駅より

ほぐし処 愉楽 検索 中野代々木駅より
車で5分

満足できるメガネをお作りします

はめんしゅうさかいせきそうち ウェーブフロント アナライザー
長野県初の「波面収差解析装置 Wavefront Analyzer」を導入

視力の出ない原因を徹底解析 -クリアな視界を-



県内最大
眼鏡5,000本の品揃え

VISION STATION

ビジョンズ
020

ビジョンステーション byコミヤマ
0267-41-6373

【JOA公認SS級認定】
【認定】成熟期直取

【JOA公認SS級認定】

クレジットカード、
電子マネーで
5%還元OK